



日本骨髄バンクの現状（平成 29 年 6 月末現在）

	5 月	6 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,958	2,805	474,185	704,743
患者登録者数	263	251	3,573	51,348
移植例数	106	122	—	20,869

■6 月年代別ドナー登録者数（現在数）

10 代	4,104 人
20 代	70,452 人
30 代	139,029 人
40 代	202,681 人
50 代	57,919 人

■6 月の 20 歳未満の登録者 364 人

■6 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／823 人、献血併行型集団登録会／1,903 人、集団登録会／40 人、その他／39 人

■6 月末までの末梢血幹細胞移植 (PBSCT) 累計数：320 件

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

■骨髄バンクを介して 2 回提供された方 (累計数)：1,459 人

■DLI (ドナーリンパ球輸注) 療法の実施件数 (累計数)：774 件

■国際協力 (2017 年 4 月～2017 年 6 月)

<海外ドナー⇒国内患者> 移植数：0 件 累計移植数：187 件 <国内ドナー⇒海外患者> 提供数：2 件 (KMDP) 累計提供数：264 件

1 理事の改選、事業報告および決算が可決承認

6 月 29 日 (木) に第 6 回通常評議員会が開催され、退任された岡本真一郎理事にかわり、東京大学医科学研究所の高橋聡准教授が理事に選任されました。

このほか、本評議員会では平成 28 年度事業報告、平成 28 年度決算報告等が承認されました。

平成 28 年度の収支は経常収益が 14 億 3,500 万円、経常費用が 14 億 4,800 万円で、1,300 万円の赤字となりました。

平成 28 年度事業報告・決算報告は、ホームページをご覧ください。

*HOME > 日本骨髄バンクについて > 法人情報

2 ACジャパンの骨髄バンク支援・新キャンペーン「僕が卒業しても、」

7 月 1 日より ACジャパンの骨髄バンク支援・新キャンペーンが始まりました。来年 6 月末までテレビ・ラジオの CM、駅や交通機関のポスター等で展開します。

今回の ACキャンペーンに出演する俳優・木下ほうかさんは、2009 年に骨髄バンクを介して骨髄提供し、ご自身のブログでも骨髄バンクの意義を訴えるなど、積極的な支援活動を行っています。自らの提供経験に基づき、骨髄バンクの重要性を訴え、18 歳から 54 歳までの年齢制限も知ってもらおう若い世代へ向けて働きかけます。新しい CM は、ACジャパンのホームページでご覧いただけます。

https://www.ad-c.or.jp/campaign/support/support_01.html

3 創刊 50 号記念「日本骨髄バンク NEWS」発行

日本骨髄バンク NEWS 第 50 号を 7 月 5 日に発行しました。俳優・木下ほうかさんの巻頭インタビューのほか、特集ではドナーのための社会支援や移植経験者・提供経験者の貴重な体験談をご紹介します。詳しくはホームページをご覧ください。

●日本骨髄バンク NEWS vol. 50 2017 年 7 月 5 日号

http://www.jmdp.or.jp/documents/file/07_about_us/banknews/news50.pdf

●ドナーズネット「この人にインタビュー」vol. 30 (木下ほうかさんのインタビュー全文を掲載しています)

<http://www.donorsnet.jp/interview/005152.php>

●木下ほうかさん応援メッセージ (YouTube 骨髄バンク公式チャンネルでご覧いただけます)

<https://www.youtube.com/user/jmdpmv>



4 「2017 子ども震が関見学デー」8月に開催

今年も夏休みの子ども向けイベント「2017 子ども震が関見学デー」が8月2(水)・3日(木)に各府省庁で開催されます。厚生労働省2階講堂の「骨髄バンクとさい帯血バンク」合同ブースでは、子どもたちがクイズや医師に扮して骨髄・さい帯血採取、移植体験などを行います。参加者には「こどもドナーカード」(写真付き)をプレゼントする予定です。楽しみながら造血幹細胞移植について知る企画を実施します。

5 骨髄バンク推進全国大会 2017 in 栃木 <第二報>

世界骨髄バンクドナーデーに合わせて、9月16日(土)に「骨髄バンク推進全国大会 2017 in 栃木」を開催します。プログラムは下記を予定しています。

オープニングアクトでは、白鷗大学ハンドベルクワイアの演奏が行われます。

続いて第1部は式典、第2部では栃木県のドナー登録推進活動報告のほか、藤原慎一郎先生(自治医科大学附属病院 血液科)による医療講演が行われます。

第3部の体験者講演では、移植経験者に小山市在住の吉川隆士さん(栃木県壬生町立南犬飼中学校教諭)、提供経験者に俳優・木下ほうかさんをお招きする予定です。

入場無料でどなたでも参加できます(先着550名様)。皆さまのご来場をお待ちしています。

日時 9月16日(土) 12:00~16:00

場所 白鷗大学東キャンパス・白鷗ホール JR小山駅東口徒歩1分
(栃木県小山市駅東通り2-2-2)

6 新たに3つの自治体でドナー助成制度スタート

「骨髄バンクを介して骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度」が新たに3つの自治体でスタートしました。同制度を導入した市区町村は全国で310*になります。

(※前号で計309とお伝えしましたが、重複により正しくは307でしたので訂正します)

助成内容は各自治体によって異なりますので直接お問い合わせください(当法人のホームページに問い合わせ先一覧を掲載しています)。

■新たに導入した自治体

○荒川区 ○西東京市(以上東京都)、 ○大山崎町(京都府)

7 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設の認定について

下記の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設として認定されました。

■非血縁者間末梢血幹細胞採取施設

地方独立行政法人りんくう総合医療センター

これにより末梢血幹細胞採取認定施設は101施設となりました(平成29年6月末現在)。新規認定施設はホームページでもご覧いただけます。

*HOME > 患者さんへ > 登録から移植まで > 移植認定病院、およびドナー登録されている方へ
> 面談施設一覧

8 当法人の会議等開催予定

◆会議の傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
医療委員会	公開・一部非公開	7月17日（祝）13時～16時 廣瀬第2ビル地下会議室
業務執行会議	公開・一部非公開	7月21日（金）17時半～19時半 廣瀬第2ビル地下会議室
臨時理事会	公開・一部非公開	9月15日（金）17時半～19時半 廣瀬第2ビル地下会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

9 「骨髄採取後、遅発性血管迷走神経反射を発症した事例」について <安全情報>

骨髄採取後、遅発性血管迷走神経反射を発症した事例が複数報告されました。当法人では再発防止の観点から情報提供します。同封資料（安全情報）をご確認ください。

また、骨髄提供後のドナーの安全確保の観点から、コーディネーターが入院訪問時にドナーの方へ同封資料「ドナーの方への大切なお願い」をお渡しし、注意喚起することにしました。

10 「健康上の申告のお願い」（確認書）について <コーディネーターの方へ>

当法人は、問診票や確認検査面談等を通じてドナーの健康状態を確認し、ドナーの安全と患者保護の観点から、ドナーとしての適格性を判断しています。しかしながら、一部のドナーの方は提供したいとお気持ちなどから健康上の問題を申告しない場合があります。

このため「健康上の申告のお願い（確認書）」を用いて、面談時に健康上の申告について確認することにしました。同封資料を確認のうえ、対応をお願いします。

11 ドナー適格性判定基準 ホームページ版について

これまで、ドナー適格性判定基準が追加・変更となった場合には、変更点のみホームページに掲載していましたが、本年7月1日より、変更点のお知らせとともにドナー適格性判定基準の最新版をホームページに掲載しています。

ドナーの適格性をご判断いただく際には、**ホームページの最新版**をご確認ください。

*HOME > 医師の方へ > 調整医師・採取医師の方へ > ドナー適格性判定基準

12 ドナー適格性判定基準「マラリア流行地域の変更」

ドナー適格性判定基準「マラリア流行地域」が変更となりました。同封資料「マラリア流行地域判断基準一覧」をご確認ください。



13 HLA 適合検索結果報告書におけるドナーの検索順位について

ドナーの検索結果は、HLA 適合度を中心とした評価点に基づき優先順位がつけられ表示されますが、HLA を評価するしくみから、以下の理由でアリルフルマッチドナーがアリルミスマッチドナーよりも順位が下がる場合があります。

- ・アリル個別の評価ではなくローカス毎に評価しているため
- ・高頻度アリルではなくNMDPコードを評価しているため

詳細は同封資料「HLA 適合検索結果におけるドナーの検索順位について」またはホームページをご確認ください。

*HOME > 医師の方へ > 患者主治医の方へ > 医師宛通知文

14 コーディネート期間短縮に向けた開始ドナー人数増加トライアル（受付終了）

マンスリーJMDP 3月号でご案内した「コーディネート期間短縮の取り組みの一環として開始ドナー人数を5人から10人に増やすトライアル」は、6月末で受付を終了しました。症例数18例となりました。今後、コーディネート行程における影響等を検証してまいります。

15 ドナー選定時の移植希望時期に関するアンケート結果報告

マンスリーJMDP4月号でご案内した標題アンケートにつきましては、ご協力いただきありがとうございました。集計結果の詳細は、同封資料「ドナー選定時の移植希望時期に関するアンケート結果報告」またはホームページをご覧ください。

*HOME > 医師の方へ > 患者主治医の方へ > 医師宛通知文

16 全コーディネートの「終了理由別終了件数」について

これまで「骨髄または末梢血幹細胞提供に向けたコーディネート」は、提供方法別に異なる理由で終了することがあるため、提供方法別にそれぞれ終了件数を集計していました。ただし、現行のシステムでは、終了行程は1つしか情報を持たないため行程別には集計できませんでした。

「骨髄または末梢血幹細胞提供に向けたコーディネート」件数の増加に伴い、コーディネート件数全体の行程別終了件数をわかりやすく示す必要性等が生じたことから、今後はどの提供方法であっても1人のドナーについて終了理由は1回のみカウントし、行程別に集計した資料を公式な資料とします。別紙「終了理由別終了件数」をご確認ください。

なお、集計の条件は以下のとおりです。

■条件

- ・コーディネート終了時の提供方法の終了理由で集計
- ・終了時提供方法が「骨髄または末梢血幹細胞」の場合は「骨髄」の終了理由を集計